

**事例 4** 言語面（英語使用の正確さ）と内容面（表現内容の適切さ）の両方に焦点を当てながら、テーマについて事実や自分の考えを整理し、まとまりのある文章を書くことをねらった事例

- 学年 第2学年
- 主な領域 「書くこと」
- 事例のポイント
  - ①教師と生徒、生徒同士のインタラクションを通して、話題が広がるようにしたり、効果的な表現をクラスで共有したりする。
  - ②生徒にとって身近な目的・場面・状況の設定や伝達する相手を明確にし、書かせることで効果的に「書くこと」の指導を図る。
  - ③言語面と内容面の両方に焦点をあて、繰り返し指導する場面を設ける。
  - ④よりよい表現をクラスで共有するために、ICT端末の利点を生かし、効果的に活用する。

1 単元名 Unit7 *Amazing Australia* (Here We Go! 2 光村図書)

2 単元について (略)

3 生徒の実態について (略)

4 単元の目標

地域のことをもっと知りたいと思っているALTに対して「自分たちの住む町の魅力」を紹介するために、町のおすすめのスポット、店、名物に関する事実や考え、気持ちなどを整理し、形容詞や副詞を用いた比較表現（原級、比較級、最上級）を活用しながら簡単な語句や文を用いて、まとまりのある文章を書くことができる。

- ・形容詞の比較表現（原級、比較級、最上級、**more**、**most** を使う比較級や最上級）の特徴やきまりを理解し、それらをもとに町のおすすめスポット、店、名物について考えたことや感じたことを英語で書く技能を身に付けている。〈知識及び技能〉
- ・地域のことをもっと知りたいと思っているALTに対して「自分たちの住む町の魅力」を紹介するために、町のおすすめスポット、店、名物に関する事実や考え、気持ちなどをまとまりのある文章で書いている。〈思考力、判断力、表現力等〉
- ・地域のことをもっと知りたいと思っているALTに対して「自分たちの住む町の魅力」を紹介するために、町のおすすめスポット、店、名物に関する事実や考え、気持ちなどについてまとまりのある文章で書こうとしている。〈学びに向かう力、人間性等〉

5 単元の評価規準

(本単元における「聞くこと」、「読むこと」、「話すこと [やり取り・発表]」については、目標に向けての指導は行いが、本単元内で記録に残す評価は行わない。)

|             | 知識・技能  | 思考・判断・表現  | 主体的に学習に取り組む態度  |
|-------------|--|---|--|
| 書くこと<br>(書) | <p>&lt;知識&gt;<br/>形容詞や副詞を用いた比較表現（原級、比較級、最上級）の特徴やきまりを理解している。</p> <p>&lt;技能&gt;<br/>町の魅力について考えたことや感じたことなどを形容詞や副詞を用いた比較表現（原級、比較級、最上級）などを用いて伝える技能を身に付けている。</p> | <p>地域のことをもっと知りたいと思っているALTに対して「自分たちの住む町の魅力」を紹介するために、町のおすすめスポット、店、名物などについて、事実や考え、気持ちを整理し、まとまりのある文章を書いている。</p> | <p>地域のことをもっと知りたいと思っているALTに対して「自分たちの住む町の魅力」を紹介するために、町のおすすめスポット、店、名物などについて、事実や考え、気持ちを整理し、まとまりのある文章を書こうとしている。</p> |

6 単元の指導と評価の計画（10 時間扱い）

| 時 | ◆ねらい ○活動   | 評 価         |       |  |
|---|--|-------------|-------|--|
|   |  | 知・技         | 思・判・表 | 態  |
|   |  | ◎評価規準<評価方法> |       |  |
| 1 | ◆単元の目標について知る。<br>◆形容詞の比較級や最上級を使った話を聞いたり、それらを使って話したり書いたりする。   |             |       |  |
|   | ○形容詞の比較級や最上級を用いて、与えられたテーマについて話したり、書いたりする。<br><br>○形容詞の比較級や最上級の用法の特徴やきまりについて、言語活動を通して理解する。                      |             |       | <p>「評価についての考え方」<br/>本単元においては、第1時から第7時までは、目標に向けた指導は行うが、記録に残す評価は行わない。ただし、生徒の学習状況を把握し、学習改善や教師の指導改善に生かすことは毎時間行う。</p> |
| 2 | ◆more、most を使う比較級や最上級を使った会話を聞いたり、それらを使って話したり書いたりする。  |             |       |  |
|   | ○more、most を使う比較級や最上級を用いて、与えられたテーマについて話したり、書いたりする。<br>○more、most を使う比較級や最上級の用法の特徴やきまりについて、言語活動を通して理解する。        |             |       |  |
| 3 | ◆原級を使った会話を聞いたり、原級を使って話したり書いたりする。   |             |       |  |
|   | ○原級を用いて、与えられたテーマについて話したり、書いたりする。<br>○原級の用法の特徴やきまりについて、言語活動を通して理解する。  |             |       |  |
| 4 | ◆本文の内容を捉え、写真やキーワードを基に本文の内容を説明することができる。   |             |       |  |
|   | ○形容詞の比較級や最上級が用いられた教科書本文の内容を理解する。<br>○本文の音読活動を行う。<br>○オーストラリアはどんな国なのか、本文内容について自分の言葉を用いて他者へ伝達する。                 |             |       |  |
| 5 | ◆本文の内容を捉え、写真やキーワードを基に本文の内容を説明することができる。   |             |       |  |
|   | ○more、most を使った比較級や最上級が用いられた教科書本文の内容を理解する。<br>○本文の音読活動を行う。<br>○オーストラリアで人気のあるスポーツについて、本文内容について自分の言葉を用いて他者へ伝達する。 |             |       |  |
| 6 | ◆本文の内容を捉え、写真やキーワードを基に本文の内容を説明することができる。   |             |       |  |
|   | ○原級が用いられた教科書本文の内容を理解する。<br>○本文の音読活動を行う。<br>○「ウルル」について、どんなものなのか本文内容について自分の言葉を用いて他者へ伝達する。                        |             |       | 総合的な学習の時間など他教科等で学習した内容を取り上げることもできる。  |
| 7 | ◆観光紹介の記事から、名所や特色などを読み取る。<br>◆ALTが知りたいと思っていることを確認する。  |             |       |  |

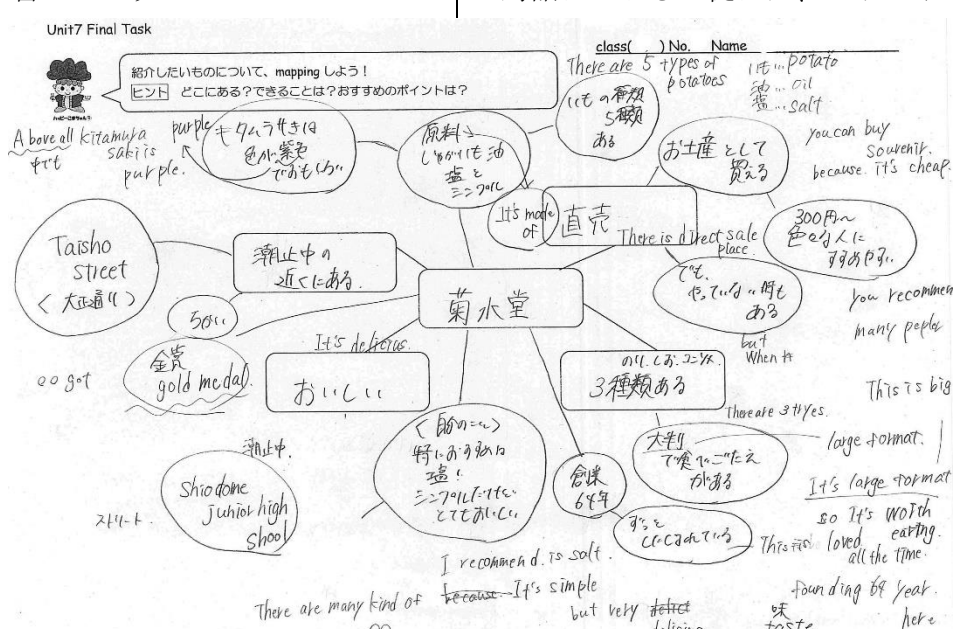
|         |  |   |   |   |   |
|---------|--|---|---|---|---|
|         | <ul style="list-style-type: none"> <li>○必要な情報を読み取る。</li> <li>○ALTに自分の町のおすすめスポットや名物を紹介することを確認する。</li> </ul>   |   |   |   | 編 P140 指導計画<br>作成の留意点(3)  |
|         | <ul style="list-style-type: none"> <li>◆原稿モデルと、紹介文を書く上での条件やルーブリックを確認する。</li> <li>◆教師が作成したマッピングを基に、紹介文を書く。</li> <li>◆ALTに紹介したい自分の町のおすすめスポット、店、名物について構想を考える。</li> </ul>  |   |   |   |   |
| 8       | <ul style="list-style-type: none"> <li>○原稿モデルを提示し、まとまりのある文章とはどのようなものなのか具体的なイメージを持つ。</li> <li>○紹介文を書く上でのルーブリックを確認する。</li> <li>○教師が作成したマッピングを基に、比較級・最上級を用いた紹介文を書く。</li> <li>○おすすめスポットや名物の他にも関連するキーワードなどを挙げて、構想を考える。</li> </ul> | 書   |   |   | ◎町の魅力について考えたことや感じたことなどを比較級や最上級などを用いて伝え合う技能を身に付けている。〈ワークシート分析〉   |
|         | ◆地域のことをもっと知りたいと思っているALTに対して「自分たちの住む町の魅力」を伝えるために、町のおすすめスポット、店、名物について事実や考え、気持ちなどについてまとまりのある英文を用いて紹介文を書く。   |   |   |   |   |
| 9<br>本時 | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ALTに紹介したい町のおすすめスポット、店、名物について良いところや特徴を書く。</li> <li>○「まとまりのある文章」とはどのような文章なのか、紹介文を書く上でのポイントを再度確認する。</li> <li>○ICT端末に提示された共通の間違いや良い例を参考にして、自身の英文を修正しながら、構成を考えて書く。</li> </ul>             | 書   | 書 |   | <ul style="list-style-type: none"> <li>◎地域のことをもっと知りたいと思っているALTに対して「自分たちの住む町の魅力」を紹介するために、町のおすすめスポット、店、名物に関する事実や考え、気持ちなどについてまとまりのある文章を書いている。〈ワークシート分析〉</li> <li>◎地域のことをもっと知りたいと思っているALTに対して「自分たちの住む町の魅力」を紹介するために、町のおすすめスポット、店、名物などについて、事実や考え、気持ちなどについて、まとまりのある文章を書こうとしている。〈観察〉</li> </ul> |
|         | ◆クラスメイトが書いたALTに紹介したい「自分たちの住む町の魅力」を読み、コメントを書く。  |   |   |   |   |
| 10      | <ul style="list-style-type: none"> <li>○前回書いたものを基に、写真をつけて清書をする。</li> <li>○「自分たちの住む町の魅力」についてかかれた紹介文を学級内で共有し、クラスメイトに読んでもらい、内容が伝わるか、表現がわかりやすいか感想をもらう。</li> <li>○ALTにも渡し、コメントをもらう。</li> </ul>                                    | 書   | 書 |   | <ul style="list-style-type: none"> <li>◎地域のことをもっと知りたいと思っているALTに対して「自分たちの住む町の魅力」を紹介するために、町のおすすめスポット、店、名物に関する事実や考え、気持ちなどについてまとまりのある文章を書いている。〈ワークシート分析〉</li> <li>◎地域のことをもっと知りたいと思っているALTに対して「自分たちの住む町の魅力」を紹介するために、町のおすすめスポット、店、名物などについて、事実や考え、気持ちなどについて、まとまりのある文章を書こうとしている。〈観察〉</li> </ul> |
|         | 編 P140 指導計画<br>作成の留意点(2)   | 事例のポイント④<br>他の生徒が書いた「町の紹介文」を読むことで、表現の幅を広げることができる。 |   |   |   |
| 後日      | ペーパーテスト  | 書   | 書 | 書 | ※ペーパーテスト例参照   |

## 7 本時の展開

目標 地域のことをもっと知りたいと思っているALTに対して「自分たちの住む町の魅力」を伝えるために、町のおすすめスポット、店、名物について、事実や考え、気持ちを整理し、まとまりのある英文を用いて紹介文を書くことができる。

準備 ワークシート、ICT端末、振り返りカード

### ○本時の展開 (9/10)

| 過程        | ○学習活動・学習内容   | ・指導上の留意点 ◎評価<方法>   |
|-----------|--|--|
| 導入<br>7分  | <p>○挨拶をする。</p> <p>○教師とALTのやり取りを聞く。</p>   | <p>・全体で挨拶をする。</p> <p>・その日の授業の流れをあらかじめ黒板に提示しておく。</p> <p>・教師とALTの会話の概要について生徒とのインタラクションを図りながら確認を行う。</p>   |
|           | <p>教師 (JET) とALTの対話例</p> <p>ALT: I want to know a good place or food in Yashio City.</p> <p>JET: Do you know ○○?</p> <p>ALT: No, I don't.</p> <p>JET: ○○ is the most delicious ○○ in Yashio City.</p> <p>There are 30 kinds of ○○. My favorite ○○ is ~.</p> <p>ALT: Where can I eat it?</p> <p>JET: You can eat it near a city hall. You should try it.</p> <p>○本時の目標を把握する。</p> <p>地域のことをもっと知りたいと思っているALTに「自分たちの住む町のおすすめスポット、店、名物」について特徴が伝わるように、紹介文を書こう。</p> | <p><b>事例のポイント①</b></p> <p>教師とALTの対話例を見せることで、活動のイメージを持たせる。</p>  |
| 展開<br>38分 | <p>○前回の授業で作ったマッピングを元に、紹介したい町のスポット、店、名物についてペアで対話をする。</p> <p>生徒が書いたマッピング</p>   | <p>・生徒のやり取りを聞き、言いたかったのに言えなかった表現や共通して見られる誤りを取り上げて、言語面の指導を行う。</p> <p>編 P140 指導計画作成の留意点(2)</p> <p>編 P140 指導計画作成の留意点(1)</p> <p>・対話につまる生徒には、アドバイスをする。</p> |

会話例

A: What is good in our city?

B: ○○ is a good place in my city.

I think that it's the largest flower spot in △△.

A: Sounds good. What can I do there?

B: You can enjoy seeing flower peaches.

There are many flower peaches in spring.

You should visit ○○.



○内容を効果的に伝えているペアを取り上げて、対話がどんな内容であったか、よりよく伝える表現を共有する。

・発表後は、相手に拍手などするように促す。  
・「○○さんの～という表現がよかった」など、効果的な表現を口頭、板書を使って伝える。

事例のポイント③

言いたいのに言えなかった表現を知っている言語材料で言い換え、板書を使って伝える。

事例のポイント③

対話をしている生徒だけにならないように、クラス全体を巻き込んで指導するように配慮する。

○相手を変えて、再度ペアで対話を行う。

・教室内を歩き、生徒の対話を聞き、紹介した内容を話している生徒とのやり取りをモデルとして見せる。

事例のポイント①

パートナーを変えて、何度か繰り返し同じ内容を伝えることで、自分の言いたいことを整理し、伝えることができるようになる。

編 P140 指導計画  
作成の留意点(2)

○前時にルーブリックで示した3つの条件を確認する。

自分の町のおすすめスポット、店、名物について書くときの条件

[条件1] ALTが知りたいこと(町のおすすめの場所またはおすすめの食べ物)について、紹介している。

[条件2] その場所、またはそのものの特徴について、ALTの興味を喚起するように説明している。

[条件3] 事実や自分の考えを整理して、おすすめする理由を書いている。

○対話の内容、作成したマッピングを基に紹介文を書く。

・マッピングを参考にしながら、紹介したいものについて書くように促す。

例1

Do you like flowers? If you like flowers, you should visit ○○ flower park.

○○ flower park is near Nakagawa River.

It is one of the largest flower spots in Saitama.

There are many flower peaches in the park. In spring, you can enjoy seeing them.

They are very beautiful.

Also, you can drink flower peaches soda pop. It's Hanamomo cider in Japanese.

When you come to Yashio City, you should visit ○○.

例 2

If you like snacks, you should visit ○○.

○○ is a potato chips factory.

It is near △△. It is fifteen-minute walk from the station.

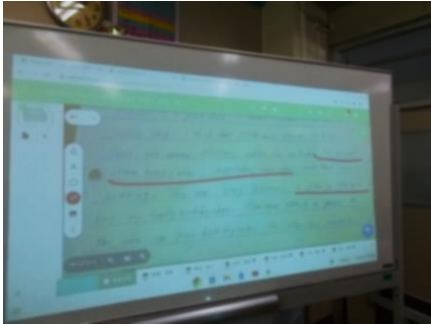
I think the potato chip of ○○ is one of the most delicious potato chips.

If you go to the factory, you can buy and eat fresh potato chips.

Also, you can buy them at ××,××. (実際のコンビニとスーパーの名前) and online.

When you come to Yashio City, you should visit ○○.

○効果的な表現を使っている生徒の例を、ICT端末を使い写真で撮り、大型ディスプレイに映し、共有する。



- ・全体で共有をした後は、それぞれの生徒のICT端末にもデータを送り、確認できるようにする。
- ・内容面では、おすすめの方法の特徴やALTの興味を喚起する文を書いている生徒を意図的に選んで、紹介することで、表現だけでなく具体的に伝える方法について確認をさせる。
- ・言語面では、比較級や最上級の文を使ったり、教科書で扱った表現を使ったりしている生徒を、意図的に選んで紹介することで、実際の使用場面を生徒に想起させ、使用を促す。
- ・間違いが多い文法事項なども、板書して全体に共有し、指導する。

努力を要する生徒(cの生徒)への手立て

- ・教科書や前時確認した原稿のモデルを見るように促す。
- ・「～さんの作文を見てみよう」など、参考になる生徒の作文をICT端末を使って見るように促す。

指導のポイント④

- ・教師が意図的に効果的な表現を使っている生徒の例を選ぶことで、表現の幅を広げることができる。
- ・ICT端末を活用することで、全員が書いたものを共有できる。その中から、自分が使いたい表現を見つけ、自分で主体的に書く活動に取り組むことができるようにする。

中間指導の例

【内容面】

「相手の興味に応じて話を進める表現」について生徒同士で考えさせ、次のような表現などを生徒とのインタラクションの中で引き出す。

- ・ Do you know ○○?, Do you like ○○?, If you like ○○, When you come to~, you should try ○○.

その場所にあるものやできることを説明する表現を引き出す。

- ・ You can enjoy ~. There are ~.

【言語面】

「比較表現を使いたいときはこの言語材料を使用すればよい」ことに改めて気付かせられるよう、生徒とのインタラクションの中で引き出す。

- ・ is the -est in~, is -er than, the most delicious ~, the most popular ~, as ~as...

既習表現から応用可能なものを引き出す。

- ・ be famous for~, Australia has ~. It's a sacred site for...

Two of the most popular things to do are ...

|                   |  |   |
|-------------------|--|---|
|                   | <p>○本單元において、「まとまりのある文章」として重視するポイントについて再度確認をする。</p>   | <p><b>事例のポイント③</b><br/>まとまりのある文章を書くときのポイントを再度確認し、相手に分かりやすく伝えるためには、どうすればよいのかを考えさせる。</p>  |
|                   | <p><b>町のおすすめのスポット・食べ物を紹介する上で、まとまりのある文章を書くときのポイント</b></p> <p>① 読み手を意識し、誰に対して伝えるのかを想定する。<br/>② 読み手に伝わり、話し手の伝えたい内容が理解できる表現を使う。<br/>③ 伝える内容、事実関係や順序などを整理する。<br/>④ 自分の考えや気持ちを明確にする。</p> |   |
|                   | <p>○まとまりのある文章を書くときのポイントを踏まえ、修正を加えて、再度紹介文を書く。</p>   | <p>◎地域のことをもっと知りたいと思っている<br/>ALTに対して「自分たちの住む町の魅力」を紹介するために、町のおすすめスポット、店、名物などについて、事実や考え、気持ちを整理し、まとまりのある文章を書いている。(ワークシート分析)</p> <p>◎地域のことをもっと知りたいと思っている<br/>ALTに対して「自分たちの住む町の魅力」を紹介するために、町のおすすめスポット、店、名物などについて、事実や考え、気持ちを整理し、まとまりのある文章を書こうとしている。(観察)</p>                  |
| <p>まとめ<br/>5分</p> | <p>○振り返りシートの記入をする。</p> <p>※生徒が記入した振り返り例：</p> <p>○挨拶をする。</p>  | <p>・振り返りシートに、本時の授業で「できるようになったこと」と「できるようにしたいこと」を記入する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>マッピングを元に、おすすめスポット、名物について紹介文を書くことができた。</p> <p>もし〜や〜が一番人気があるなど興味を引く英語を使った<br/>しかし場所の説明があまりできなかった。できれば〜したい。</p> </div> <p>・全体で挨拶をする。</p> |

## 8 ペーパーテスト例

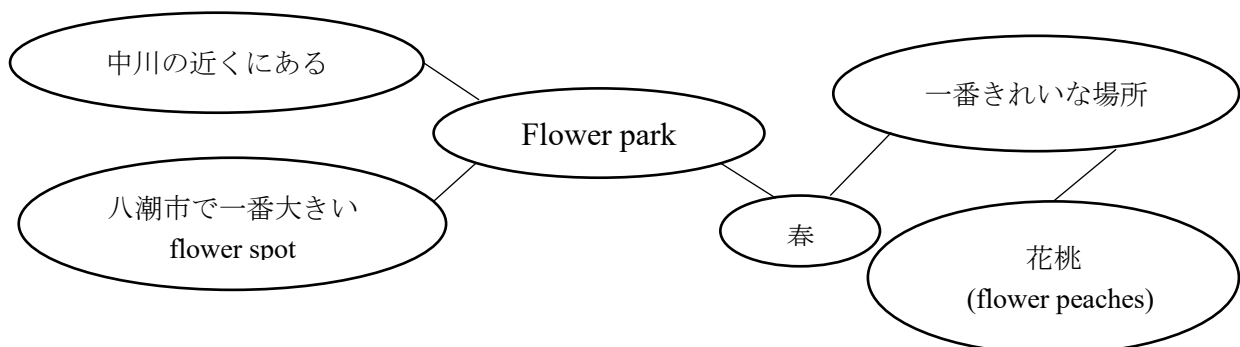
### 【主に「知識・技能」を評価する問題例】

#### (1) 内容

町のおすすめスポットを紹介する文を書くという場面を設定し、マッピングを見ながら、事実や考えたことを英語で書き、紹介文を完成させる。

#### (2) 準備する課題

あなたのクラスでは、町のおすすめスポットをALTに紹介することになりました。あなたは、「フラワーパーク」について紹介しようと思い、次のようなマッピングに情報を整理しました。この情報を基に、(1)と(2)に適する英文を書きなさい。



Do you know Flower Park?

(1)

It's near Nakagawa River. In spring, you can see flower peaches.

I think that (2).

(ア) 採点の基準

|   |   |
|---|---|
| 与えられた情報を基に、最上級を用いた文に関する英文の特徴やきまりを理解し、正確に書くことができている。<br>(正答例)<br>(1) It is(It's) the largest (biggest) flower spot in Yashio City.<br>(2) Flower park is the most beautiful place in Yashio City.  | ○ |
| 最上級の特徴やきまりを理解せず正確に書いていないもの。<br>(誤答例)<br>(1) It is(It's) the larger flower spot in Yashio City.<br>/ It is(It's) the most largest flower spot in Yashio City.<br>(2) Flower Park is the beautifulst in Yashio City.<br>/ Flower Park is the more beautiful flower spot in Yashio City. | × |

(イ) 問題の特徴

- ・実際のコミュニケーションの場面を設定しつつ、特定の言語材料の使用(文の生成)を求める問題である。

【主に「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する問題例】

「事実や自分の考えを整理し、まとまりのある文章を書く力」を見取るために、「書くこと」に重点を置いた領域統合型の評価問題を出題する。

(1) 内容

「自分たちの住む町のおすすめスポット、店、名物」について、事実や自分の考えを整理し、まとまりのある文章で書く。

(2) 準備する課題

[指示文]

日本の文化に興味を持っているオーストラリアに住む中学生の Lisa から、あなたに次のようなメールが届きました。Lisa が知りたいことについて1つ選び、そのものの特徴やおすすめの理由が伝わるように、返信メール書きなさい。

Hi, I'm Lisa. I'm a junior high school student in Australia.

I will visit your town next month. I want to know about your town. What place do you recommend? Also, I want to know about popular foods in your town. What food do you recommend? I want to try it.

I'm looking forward to your reply.

Thanks,

Lisa



(ア) 採点の基準

上記の課題を解決するには、次の①～③の条件を満たすことが必要であるとする。これらの条件に照らし合わせ、下のように採点基準を設定し、評価することが考えられる。

|  |
|--|
| [条件1] Lisa が知りたいこと（町のおすすめの場所またはおすすめの食べ物）について、紹介している。 |
| [条件2] その場所、またはそのものの特徴について、Lisa の興味を喚起するように説明している。    |
| [条件3] 事実や自分の考えを整理して、おすすめする理由を書いている。                  |

|   | 思考・判断・表現                           | 主体的に学習に取り組む態度                         |
|---|------------------------------------|---------------------------------------|
| a | 3つの条件を満たして書いている。                   | 3つの条件を満たして書こうとしている。                   |
| b | 3つの条件のうち、条件1と条件2、3のいずれかを満たして書いている。 | 3つの条件のうち、条件1と条件2、3のいずれかを満たして書こうとしている。 |
| c | 「b」を満たしていない。                       | 「b」を満たしていない。                          |

(イ) 採点の実際

生徒1

【メールの記述例】

Hi, Lisa. Thank you for your e-mail.  
Do you like cakes? I recommend ○○. 【条件1】  
I think that it's the most delicious cake shop in Yashio City. 【条件3】  
There are a lot of kinds of cakes.  
My favorite cakes is cheese cake. 【条件3】  
If you like cakes, you should go there.

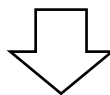
【採点基準に基づく分析結果】

【思考・判断・表現】

- ・Lisa が知りたいこと（おすすめの場所）について紹介している。  
→[条件1]を満たしている。
- ・そのお店のケーキについて、「種類がたくさんある」と書いているが、Lisa の興味を喚起するには、不十分だった。  
→[条件2]を満たしていない。
- ・「一番おいしいケーキ屋だと思う」、「お気に入りのケーキは、チーズケーキだ」と自分の考えを書いている。  
→[条件3]を満たしている。

【主体的に学習に取り組む態度】

- ・【思考・判断・表現】と一体的に評価した。



|        | 思考・判断・表現                        | 主体的に学習に取り組む態度                      |
|--------|---------------------------------|------------------------------------|
| a~c    | b                               | b                                  |
| 判断した理由 | 条件2は満たしていないが、条件1と条件3は満たして書いている。 | 条件2は満たしていないが、条件1と条件3は満たして書こうとしている。 |

生徒 2

【メールの記述例】

Hi, Lisa. Thank you for your e-mail.  
 I think ○○ is a good restaurant in Yashio. ○○ is a monjayaki restaurant. 【条件 1】  
 Do you like monjayaki? If you like monjayaki, I think you should go to ○○. ○○ is near △  
 △. ○○ is a old Japanese style restaurant. 【条件 2】  
 I think that it's the most delicious restaurant in Yashio. Mentai monja is more delicious than that  
 of ××. 【条件 3】  
 Also, you can enjoy 25 toppings.  
 If you think it's good, please visit there.

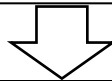
【採点基準に基づく分析結果】

【思考・判断・表現】

- Lisa の知りたいこと（おすすめの場所・食べ物）について紹介している。  
→[条件 1]を満たしている。
- その場所がどこにあるのか、「古い和風のレストランだ」という表現を使って、その場所の特徴について、Lisa の興味を喚起するように説明している。  
→[条件 2]を満たしている。
- 「一番おいしいレストランだ」、「××の明太もんじゃよりもおいしい」などと自分の考えを書いている。  
→[条件 3]を満たしている。

【主体的に学習に取り組む態度】

- 【思考・判断・表現】と一体的に評価した。



|        | 思考・判断・表現         | 主体的に学習に取り組む態度       |
|--------|------------------|---------------------|
| a~c    | a                | a                   |
| 判断した理由 | 3つの条件を満たして書いている。 | 3つの条件を満たして書こうとしている。 |

<事後指導>

上記評価項目を満たさず、「努力を要する」状況（c）と判断した生徒がいた場合、自分たちの住む町のおすすめの場所またはおすすめの食べ物について紹介し、その理由を書けるように個のつまづきを把握したうえで指導したい。（例：表現が分からない生徒については、既習の表現を生徒とのインタラクションを図りながら引き出す。単語が書けない生徒については、既習の類語や類推できる表現の利用を想起させられるようインタラクションを生徒と図るようにするなど。）本単元以降も、書く活動に限らず自分の考えや意見に加えて理由も述べるよう、継続した指導や支援を行う。

(ウ) 本問題の特徴

- 目的や状況、場面を明確に設定し、単元を通して指導してきたこと（相手意識や理由を述べること）を踏まえて内容を問う問題である。
- 「思考・判断・表現」と「主体的に学習に取り組む態度」を見取るので、当該単元で扱った言語材料を必ず使用しなければならないわけではなく、課題を解決するためのコミュニケーションに支障をきたさない英語で書かれているかを問う問題である。

コミュニケーションに支障をきたさない範囲での英語の利用例について

- eat potato chips. (主語が欠落している)
- I like poteto chips. (つづりに誤りがある)
- flower peaches in the park. (語や句で解答している)
- We can walks. (動詞の活用形に誤りがある)